

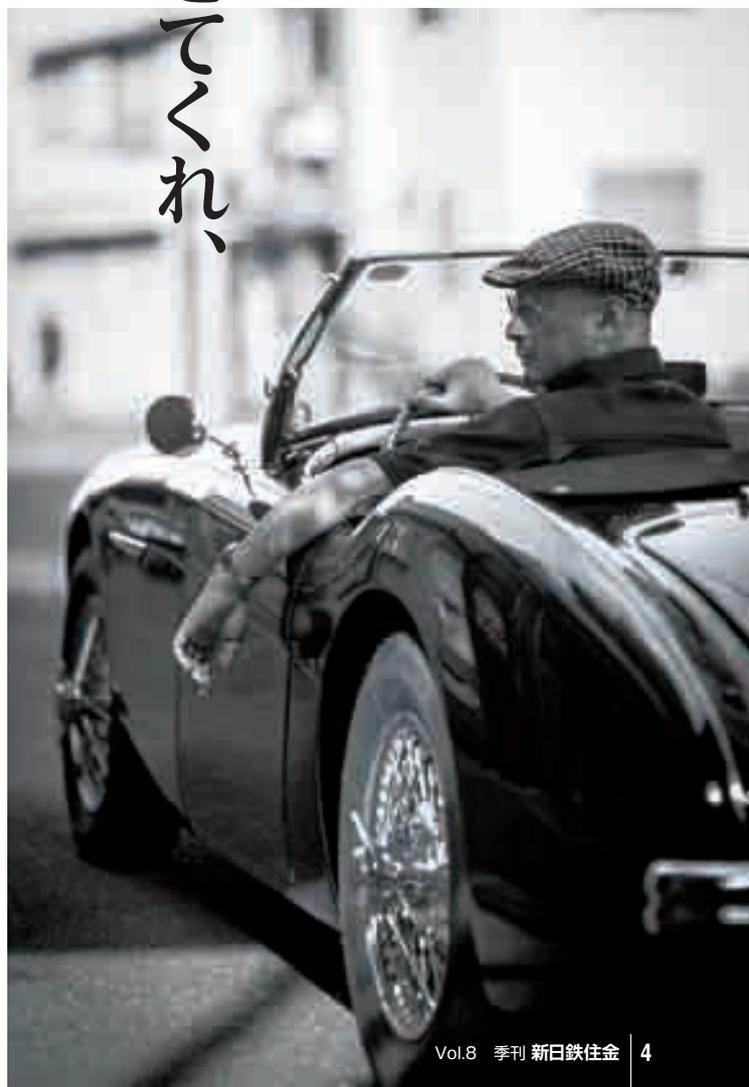


鉄の質感がいいね！

土地の磁場をクルマが引き寄せてくれ、 曲が湧いてきます

ミュージシャン

横山 剣氏



クルマは移動のための手段ですが、僕の場合、運転しているとメロディーが浮かび、車内は作曲ルームに早変わりします。その土地の磁場をクルマが引き寄せてくれ、曲が湧いてきます。ハンドルまかせで横浜から横須賀、葉山を抜けて三浦半島をドライブしたり、ベイブリッジから湾岸線を走るのがお気に入りです。今までいろんなクルマに乗ってきました。その中で一番印象深いのは1965年型フォード・マスタングです。好きになったきっかけは、小学生のときテレビで観たフランス映画『男と女』です。あまり子どもが観てはいけない映画でしたが、ストーリーや役者よりも、アイボリーのマスタングに魅了されました。フランスの街角をアメ車が走るという越境感も良かった。だから僕の中のマスタングは、アメ車だけれどフレンチなクルマです。

中学生のころサーキット場のパドックに入る機会がありました。出走前のレーサーたちは、戦にいくような眼光の鋭さでした。事故は死に直結します。その覚悟がひしひしと伝わってきます。緊張感がたまらず、僕もドキドキしました。18歳で運転免許を取ると、サーキット場で走りたくてレース用のクルマを購入しました。街で見慣れたクルマが、車高を落として、太いやイヤを履いて走る姿にシビレました。サーキット場はトヨタ対日産という様相を呈し、ドッグファイトが繰り広げられました。トヨタは2000GTの流線型、日産はスカイラインGT-Rのスクエアなイメージで、どちらもシルエツトがかっこいい。僕がヒゲを生やしたりハンチングを被るモデルになった人は、レーサーの北野元さんですが、丹精なマスクの福沢幸雄さんや作曲家でもあった三保敬太郎さ

愛車遍歴

1978年 日産 サニー 1200GX-5 オールズモビル カトラス シュプリーム	1991年 ホンダ レジェンド キャデラック ブロアム
1980年 オールズモビル カトラス 442	キャデラック リーガル(センチュリー)
1981年 日産 スカイライン 2000GT	1994年 ホンダ アコード エアロデック 2000Si
1982年 オールズモビル カトラス サロンクーペ トヨタ カローラ KE30	1996年 いすゞ ジェミニ 日産 セドリック2000ターボ ブロアム
1983年 いすゞ ベレット 1600GT フォルクスワーゲン タイプIII ノッチバック アルファロメオ 1750GT ヴェローチェ	1997年 シボレー ルミナ APV
1984年 オールズモビル カトラス S クーペ BMW 2002ti	1998年 ホンダ シビックシャトル
1985年 いすゞ ベレット 1600GT-R いすゞ ベレット 1800GT 日産 グロリア ブロアム330	1999年 トヨタ クラウン スーパーサルーン
1986年 トヨタ カローラ KE70 日産 ローレル	2001年 トヨタ クラウン デラックス(1970年式)
1987年 日産 スカイラインGT-X ホンダ アコード エアロデック 1800LX-R	2002年 マツダ オートザム レビュー トヨタ セプターワゴン
1988年 メルセデス・ベンツ 560SEC トヨタ ライトエース トヨタ ハイエース	キャデラック コンコース フォード・マスタング
1990年 ホンダ アコード USクーペ	2003年 フォルクスワーゲン ゴルフ
	2004年 メルセデス・ベンツ E55 AMG
	2005年 トヨタ プリウス
	2006年 日産 プレジデント
	2010年 トヨタ エスティマ ハイブリッド シボレー ノーヴァ
	2011年 オーステン・ヒーラー
	2014年 キャデラックCTS



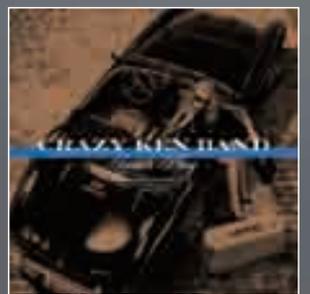
んにも憧れました。クルマのシルエットも、レーサーも、何もかもセクシーでした。

最近はおースチン・ヒーレーでクラシックカーラリーに参加しています。関東甲信越地区の公道を4日間で1300キロ走ります。参加資格は1958年までに製造されたクルマで、本場イタリアのレギュレーションに準拠し、さまざまな条件をクリアしながらゴールを目指すという競技です。僕のヒーレーは1956年製ですから、かなり新しい。「楽なクルマ乗ってるねえ」と言われます。

ヒーレーはレーシングモデルでアルミ製もありますが、公道を走るラリーにはスチール製がよく似合います。僕はこれまでスチールボディ

のクルマしか乗ったことがありません。それは曲面とかライン、塗装のノリが違うからです。F1は別ですが、いわゆるサルーンやセダンは鉄の質感の方がいいですね。

ヒーレーの良さは、実際のスピードよりものすごく飛ばしているように感じる乗り味にあります。僕らにとつて100という数字は異次元への扉です。子どもころ叔父がよくクルマに乗せてくれました。90キロ、95キロ、100キロと真っ赤な顔してカウントしながら運転していました。ヒーレーの場合100マイルがメルクマールになります。僕もまた『葉山ツイスト』で歌ったように「若さが燃えているぜ！速度も1000キロ」という気分でレースを楽しんでいます。(談)



2014年9月リリースアルバム「SPARK PLUG」

横山 剣(よこやま・けん)

1960年横浜生まれ。81年クルース・ロカビリークラブのコンポーザー兼ヴォーカルとしてデビュー。97年クレイジーケンバンドを結成、2005年テレビドラマのオープニング曲となった「タイガー&ドラゴン」が大ヒット。堺正章、和田アキ子、S.M.A.Pなどに楽曲を提供し、作曲家・作詞家としても活躍。2014年9月にリリースしたアルバム「SPARK PLUG」を携えた全国ツアー「SPARK SHOW」の追加公演が決まるなど各地で好評を得ている。